

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	商学部	身分	教授
氏名	奥本 勝彦		
NAME	Katsuhiko OKUMOTO		

1. 研究課題

(和文) マーケティングにおける原産国に対する消費者の考えやイメージに関する研究

(英文) Image of consumers on different countries of origin in marketing

2. 研究期間

1年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word 程度)

(和文)

原産国研究は、かなり広範囲な研究領域をもっており、かつ、最近の研究は、ますますその範囲を広げつつあるのが現状である。そこで、今回は、今年度の研究の成果における一部として、下記のテーマで、論文を完成させた。すなわち、

「消費者による製品評価、購買意欲、国のイメージに関する研究——尖閣列島と竹島の以前と以後の比較研究——」、『商学論纂』、第56巻、第1・2号、2014年7月刊行予定

上記論文は、2011年実施した研究結果と、2013年度の特定課題研究費によって実施した研究の結果を比較することを行った。

これは、最近の外交や政治関係が新聞やテレビをにぎわしているが、そのことによって、日本人被験者がどのようにそれぞれの国における商品进行评估するか、また、どのようにその評価が変化したかを追究した。ここでは、中国、韓国、日本、台湾の比較を行った。実際に被験者がそれぞれの製品を使用したか否かは問題ではなく、イメージとしてどのように捉えているかを追究したものである。

なお、これとは別に、中国、韓国、日本、ベトナムの被験者を調査して、アジアの4カ国の比較をする所存である。これらの4カ国の調査は、終了し、現在そのデータの分析を行っている。その研究結果については、論文として、第56巻、第5・6号に掲載する予定である。

(英文)

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

奥本勝彦、「消費者による製品評価、購買意欲、国のイメージに関する研究

——尖閣列島と竹島の以前と以後の比較研究——」

『商学論纂』、第56巻、第1・2号、2014年7月予定

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）